



東公民館だより

令和5年5月号

令和5年5月19日発行

みどり市東公民館

TEL 97-2721

FAX 97-2424



☆令和5年度高齢者学級『寿大学』について☆



令和5年度は、高齢者一人ひとりが健康で豊かな生活を送るために、自ら学ぶ意欲を持ち、豊かな趣味と教養を身につけることを目的とし、寿大学の開講を予定しています。

○対象・人数 みどり市内在住の60歳以上の男女 募集人数は40名程度

○場所・期間 東公民館 全7回（7月～2月：月1回：8月はお休み）

○学習内容(予定) 講話4回・趣味の教室2回・健康スポーツ教室1回

○申込み・問い合わせ：東公民館 TEL 97-2721

※詳しくは、後日配布のチラシをご覧ください。



学習支援ボランティア募集



みどり市の3公民館では、下記の期間に小・中学生の学習を手助けしてくれる、学習支援ボランティアを募集します。

実施期間：①7月25日(火)～28日(金)、②8月1日(火)～4日(金) ※②は笠懸のみ

実施時間：午前の部：9:30～12:00、午後の部：13:00～16:00 のいずれかまたは両方

業務場所：笠懸公民館・大間々公民館(多世代交流館)・東公民館

謝 礼：1回750円

対 象 者：みどり市及びみどり市近郊に在住する高校生以上の方

申込締切：6月16日(金)

申込方法：電話、FAX、メール、窓口により、氏名・住所・連絡先、協力希望日等を添えて各公民館へお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止になることもあります。



東公民館



第25回 アズマの春芸能発表会 開催します！

今年は、東地域文化協会加盟団体の出演によるアズマの春芸能発表会を開催します。今回も笠懸地域文化協会、大間々地域文化協会からの出演があります。

開催日時：令和5年6月10日(土) 午後1時開演(午後0時30分開場)

会 場：童謡ふるさと館ファミリーホール

出 演：エンジェルベル、楽勝歌クラブ、東雲コーラス、さわやかハーモニカクラブ
佐昇会(笠懸)、ほほえみハーモニカクラブ(大間々)、
フラ ミノアカ(大間々)、南京玉すだれみどり会(大間々)

※現在、喫茶・売店は営業しておりません。お手数ですが、食事や飲み物は、持参いただき、ロビー等で飲食してください。



東町人口【2023.4月末】

男	女	合計	増減(前月比)	世帯数
784	890	1,674	+2	853



みどモス



童謡の父 石原和三郎没後 100 年記念事業について



童謡「うさぎとかめ」「金太郎」などの作詞者で、みどり市東町出身の石原和三郎が亡くなってから、2022 年 1 月で 100 年が過ぎました。

4 月 29 日(土)には、童謡ふるさとフェスティバルとして、昨年実施した石原和三郎賞作詞コンクールの入賞者の表彰式と記念コンサートやイベントを開催しました。



大勢の皆さんにお集まりいただき、表彰式が進み、新作童謡のお披露目コンサートでは、きみつ少年少女合唱団の歌声に癒されるひとときとなりました。

当日は、会場にみどモスもやってきて、イベントを盛り上げてくれました。



秋には、童謡ふるさと館のほか、ながめ余興場、グンエイホール PAL で落語会やオペラなどのイベントも計画しています。楽しみにお待ちください。

※イベント等は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更となる場合があります。

石原和三郎の関係資料は、童謡ふるさと館から旧花輪小学校記念館に移転します。

現在休館中の旧花輪小学校記念館ですが、開館に向け準備が進んでいます。



再開されて展示がみられるまで、もうしばらくお待ちください。

引き続き、記念事業と並行して、石原和三郎の書簡や絵画など、関係資料を探しています。ご自宅に眠っている資料がある方で、資料の貸し出しや提供が可能な方は、東公民館までご連絡下さい。◇資料についての連絡先 東公民館 (0277-97-2721)

今年度の紙上講座は、百年ほど昔の東地域の様子を記録した岩澤正作氏の紀行文の現代語訳です。



公民館だよりの別紙としてお届けします。今までよりさらに読みごたえがあります。

4 月から公民館も職員が一人変わり新体制になり、2 か月近くたちました。

その間、童謡ふるさとフェスティバルや展示、コンサートなど、いろいろなイベントがありあわただしい日々でした。

イベント事業は、たくさんの人たちの協力や参加してくれる方がいてなりたつことを実感しました。

今号でお知らせしたとおり、寿大学など、公民館の事業が始まります。どんな内容なら皆さんに参加してもらえるか、頭を悩ませながら計画しています。

予算はあまりありませんが、開催希望があったら。東公民館にお電話ください。

梅咲くや 戦火は絶えず他国とて

幼なき日々を ふと思いたり

金子照子

白梅や塀の外まで堂々と

花の盛りを主なき庭へ

千葉正篤

二ヶ月の入院克服 春盛り

身を整えて 迎え待つ夫

今泉紀美代

短歌

腰痛の 良く伸びるのは 爪ばかり

影沢美代子

蠟梅の香る 道端で 友と逢い

八汐咲く。ピンクの色の 揺れ止まず

高瀬安代

俳句

あずま文芸



米田展彗